



～ 茨城ゆかりの演奏家たちの名演の連続をお聴き逃しなく！～ 「茨城の名手・名歌手たち 第34回演奏会」開催のお知らせ

茨城県に関わりのある音楽家を広く紹介する企画「茨城の名手・名歌手たち」。今回で34回目となる本企画は、これまでにのべ400組近い演奏家を輩出してきました。

今回の演奏会には、今年4月に行われたオーディションを通過した8組の演奏家たちが出演します。

茨城ゆかりの注目の名手・名歌手たちによる演奏会を、ぜひ貴媒体にてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

茨城の名手・名歌手たち 第34回演奏会

2026年11月29日(日) 16:00開演

【会 場】水戸芸術館コンサートホール ATM

【司 会】宮本文昭（オーディション審査委員）

【料 金】全席自由／一般 1,500 円

【出演者】石崎羽夏（クラリネット）、中村頼人（バリトン）、坂田来蘭々（ソプラノ）、
Quatre Roses Saxophone Quartet（サクソフォン四重奏）、柴沼怜央（打楽器）、
吉村諒雅（サクソフォン）、飛田菜摘（トランペット）、一條翠葉（メゾ・ソプラノ）



《チケット取り扱い》 好評発売中

水戸芸術館（9:30～18:00／月曜休館）

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

【電話】チケット予約センター Tel.029-231-8000

【WEB】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

協力：株式会社常陽銀行、公益財団法人常陽藝文センター

出演者は、2026年4月11日（土）に行われたオーディションの合格者です。

応募総数：27 組（管楽器 6／打楽器 2／声楽 13／器楽アンサンブル 6）

審査委員：池辺晋一郎（全部門）、小泉恵子（声楽）、堀 伝（全部門）、松本美和子（声楽）、
水野信行（管楽器、打楽器、器楽アンサンブル）、宮本文昭（全部門）

【お問合せ】企画について：水戸芸術館音楽部門（担当：根本・篠田）Tel.029-227-8118

ご掲載について：水戸芸術館広報係（担当：君島）Tel.029-227-8111

E-mail: kouhou@arttowermito.or.jp

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>

出演者プロフィール（出演順）



石崎羽夏（クラリネット）

茨城県立水戸第三高等学校音楽科を経て、東京音楽大学3年次在学中。クラリネットを吉田かなえ、近藤千花子、四戸世紀に師事。第26回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト高校生部門審査員賞、第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール木管楽器部門高校生の部第5位、SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2024 大学生の部第3位。日立市出身。



吉村諒雅（サクソフォン）

茨城県立水戸第三高等学校音楽科卒業。これまでにサクソフォンを鈴木俊樹、柳下柚子、五島知美、太田大地に、ピアノを村田孝夫、来栖由香里に、チェンバロを鴨川華子に、コントラバスを石橋京子に師事。水戸芸術館「2025 年度市民のためのオルガン講座」受講。現在、常磐短期大学1年次在学。鹿嶋市在住。



中村頼人（バリトン）

東京藝術大学1年次在学中。第26回高校生のための歌曲コンクール優秀賞、第79回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール茨城代表、優秀賞および竹田市長賞、竹田市教育長賞受賞。第79回全日本学生音楽コンクール東京大会入選。第21回ショパン国際ピアノコンクールin ASIA アジア大会小学5・6年生部門奨励賞。現在、声楽を櫻田亮、モントロ典子に、ピアノを大田佳弘に師事。つくば市出身、取手市在住。



飛田菜摘（トランペット）

水戸女子高等学校卒業。洗足学園音楽大学管楽器専攻トランペットコース卒業。佛坂咲千生、中山隆崇、原朋直に師事。大学卒業後8年のブランクを経て、2024年秋よりトランペットを再開。現在はアンドレ・アンリに師事。第35回日本クラシック音楽コンクール全国大会出場。第94回東京国際芸術協会新人演奏会に出演。現在、東京・茨城を拠点に音楽活動を行う。水戸市在住。



坂田来蘭々（ソプラノ）

茨城県立水戸第三高等学校音楽科卒業。東京藝術大学1年次在学。第4回国際声楽コンクール東京第3位。第49回ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会第1位。第27回日本演奏家コンクール高校部門第1位および芸術賞、横浜市長賞受賞。第79回全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞。これまでに高橋侑、モントロ典子、櫻田亮に師事。水戸市在住。



一條翠葉（メゾ・ソプラノ）

東京音楽大学卒業、同大学院、新国立劇場オペラ研修所修了。第58回日伊声楽コンクールおよび第91回日本音楽コンクール入選。これまでに《フィガロの結婚》ケルビーノ、《コシ・ファン・トゥッテ》（ロラン・ペリー演出）ドラベッラ、《こうもり》（アンドレアス・ホモキ演出）オルロフスキーを演じる。ラ・フォル・ジュルネ TOKYOにおけるソリスト等でも活躍。二期会会員。守谷市在住。



Quatre Roses
Saxophone Quartet
(サクソフォン四重奏)

2022年、武藤伶の呼びかけにより結成。「茨城の名手・名歌手たち 第30回」に出演。メンバー全員が茨城に縁をもち、各人の音色の個性を大切にしつつ華のあるアンサンブルを目指す。

小川明日香 つくば市在住、尚美学園大学卒業
中島 美紅 阿見町在住、武蔵野音楽大学卒業
武藤 伶 つくば市出身、東京芸術大学卒業
久米 愛海 行方市在住、洗足学園音楽大学卒業



司会：宮本文昭
(音楽家/オーディション審査委員)

1949年東京に生まれる。フランクフルト放送交響楽団（現 hr 交響楽団）、ケルン WDR 交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団などの首席オーボエ奏者を歴任、また小澤征爾音楽塾主要メンバーとして活動し、日本人のオーボエ奏者として第一人者の地位を築いた。ソニー・クラシカルをはじめメジャー・レーベルからのCDリリースも数多い。2007年3月、多くの音楽ファンに惜しまれつつ40年に及ぶオーボエ奏者としての活動にピリオドを打つ。その後指揮者として活動を始め、2007年自らプロデュースする“オーケストラ MAP'S”を創設、2012年～15年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の初代音楽監督を務めた。広範な音楽活動の一環として、ラジオのパーソナリティーや著述活動にも力を注いでいる。現在は、東京音楽大学器楽科オーボエ専攻教授として後進の指導にあたり教育者としても高い評価を得る一方、国内外の音楽コンクールの審査員を務めるなど、若手演奏家の育成にも積極的に取り組んでいる。



柴沼伶央（打楽器）

茨城高等学校を経て、東邦音楽大学管弦打楽器専攻を首席で卒業。東京音楽大学大学院修士課程2年次に在籍。菅原淳、久保昌一、渡辺由美子、久一忠之、河野玲子、飯野智大、宮崎泰二郎、アントン・ミッターマイヤーに師事。第23回日本ジュニア管打楽器コンクール第1位受賞他。ベン・ノブトウらと共同した現代音楽作品のキュレーション企画を展開。水戸市在住。